

〔延喜式大膳三十三〕仁王經齋會供養料

僧一口別略○中海松一兩○海菜料 右一日供料依前件

〔延喜式三十九〕供御月料

海松二斤四兩略○中 右月料小月減卅分之二

年料

志摩國深○海○松○ 右諸國所貢並依前件仍收贄殿擬供御

〔執政所抄正月〕二日

臨時客

御料次第略○中 三獻鳩羹 追物生虵浮海松鳩足酢坏无海松時

〔萬葉集十〕神風之伊勢乃海之朝奈伎爾來依深海松暮奈藝爾來因ヨルマタ俟ム海松フカ深海松フカ乃ノ深目師シ吾乎ワレ

俟海松乃復去反都麻等不言登可聞思保世流君

〔東大寺要錄三〕供養東大寺盧舍那大佛記文

貞觀三年歲次辛巳春三月十四日戊子行大會事略○中

一僧供 導師一人供料略○中海松五帖略○中 法用千僧供 一人料略○中海松六把

〔伊勢物語下〕昔男略○中うせにし宮内卿もちよしが家の前くるに日くれぬ略○中みなみの風吹て

波いとたかしつとめてその家のめのこども出てうき海松の波によせられたるひろひて家の

うちにもてきぬ女がたよりそのみるをたかつきにもりてかしはをおほひて出したるかしは

にかけり

わたつ海のかざしにさすといはふも、君が爲にはおしまざりけり、ななか人の歌にてはあ

まれりやたらすや